

東山動物園くらぶ

vol. 2

ニュース 2014 年 4 月発行



東山動物園くらぶニュースは動物園学生くらぶ（通称：ZOO 学）が作成に協力しています。ZOO 学とは、岐阜大学生を中心とした動物が大好きなメンバーが集まった学生サークルです。NPO 法人東山動物園くらぶが開催するイベントのお手伝いの他、メンバーで日本各地の動物園を訪問して勉強をおこなっています。



東山動物園くらぶでは「環境教育」を大きな目的として、東山動物園を中心に協同してさまざまな活動をおこなっています。その活動の中から、昨年度に実施したものを報告いたします。それぞれの活動報告の最後には、記事のレポーター本人のイラストを掲載しています。東山動物園くらぶのイベントでぜひ彼らを探してみてください。

東山動物園検定

2013年5月15日開催

東山動物園検定は、東山動物園の動物や動物園自体に視点をのせた検定をおこなうことで、より多くの市民が動物園について知り、興味を持って動物園に足を運んでもらうことを目的として開催され、今回で2回目となりました。問題は東山動物園の「歴史」・「個体」・「生態」・「施設」・「時事」・「種」の6ジャンルについて出題し当日は58人の方に参加していただきました。また、特典として学生スタッフによる解説と東山動物園飼育員による講演及び新アジアゾウ舎の見学をおこないました。

今回の検定では2年連続参加の方がおり、さらに初めて100点満点が出ました。この検定がますます魅力あるものになるよう毎年工夫を重ねていきたいと思ひます。そして、この検定で得られた結果を、東山こどもガイドや公開セミナーなど他のイベントにも活用できたらと思ひます。



新アジアゾウ舎の見学の様子



レポーターは、
おくむらです！



東山こどもガイド2013

2013年10月6, 12, 13日開催

東山こどもガイドとは、小学校高学年の子どもたちが動物園での勉強や実習を通して担当動物のことを深く学び、最終日に来園者の前で担当動物のガイドをおこなうイベントです。おかげさまで、今回で7回目の開催となりました。

今回のガイドのテーマは“環境エンリッチメント”。みなさんはこの言葉をご存知でしょうか。「環境エンリッチメント」とは、「動物の立場に立って、飼育動物が幸せに暮らせるように工夫をおこなうこと」です。例えば、右の写真ではアルダブラゾウガメを自発的に移動させることにより、ストレスをほとんどかけることなく、体重計のところまで移動させることができるのです。初めは、「環境エンリッチメント」という言葉に「？」であった子どもたちも、大学生のリーダーから動物の生態や特徴を学び、“飼育動物の幸せ”とは何かを一生懸命考えることで、最終日には来園者の方に、劇やクイズを使って学んだことを説明できるほどの成長を見せてくれました。



アルダブラゾウガメのターゲットトレーニング実習



レポーターは、
くぼです！



東山動物園寄席チラシ

第10回公開セミナー東山動物園寄席

～動物園とかけまして、落語とときます。そのころは～
2013年11月24日開催

公開セミナーの開催第10回を記念して落語会を開催しました。参加者に東山動物園や、そこに暮らす動物について楽しく知ってもらうことが大きな目的でした。なぜ落語なのか、ということにはいくつか理由があります。落語であれば老若男女誰もが楽しんでいただけるから、という理由もありますが、実は東山動物園の橋川園長が落語好きであったことも寄席の開催のきっかけとなっています。

寄席当日は、おかげさまで100名以上の方にご参加していただきました。演者には岐阜大学落語研究会の皆様、中部学院大学の竹ノ下先生、動物鳴きまねで有名な江戸家小猫さん、落語家の三遊亭白鳥さんをお呼びいたしました。小猫さんの動物鳴き真似は、レパートリーも豊富であり落語とはまた異なる1つの演芸として非常に興味深いものでした。演じられた落語は、全て動物に関わるものでした。その中でも三遊亭白鳥さんは、この日のために東山動物園を題材とした新作の落語を創作し、演じてくださいました。全体を通して団体スタッフも思わず楽しんでしまうようなイベントでした。

レポーターは、
のです！



高知県立のいち動物公園のハシビロコウ

SAGA16 (Support for African / Asian Great Apes)

会場：高知県立のいち動物公園 2013年11月9、10日参加

高知県立のいち動物公園で開催されたSAGA16に参加しました。SAGAとはチンパンジーやゴリラなどの大型類人猿の現状と将来について、研究・飼育・自然保護という立場から考えるために集まった団体です。飼育員や研究者の方々による講演や、ポスター発表がおこなわれました。私たちはNPO法人東山動物園くらぶの代表として「東山動物園検定」、「東山こどもガイド」、「動物園学生くらぶ」についてのポスター発表をしました。普段あまり面識のない飼育員の方々との交流は貴重な体験で、とても良い経験になりました。

また、SAGAの後にはのいち動物公園の園内散策をしました。野生での暮らしに近づけるために飼育施設に植物をとり入れるなどの工夫が見られました。私の一番のオススメはハシビロコウです。ハシビロコウは野生ではアフリカに生息しており「動かない鳥」として知られています。日本国内ではのいち動物公園を含め5か所しか飼育されておりません。のいち動物公園のハシビロコウはとても広い飼育場で暮らしているにもかかわらず、一か所にじっとしているのがとても魅力的でした。動かない鳥なので、羽の色や大きなクチバシをよく観察することができると思います。皆さんものいち動物公園に訪れた際にはぜひハシビロコウに会ってみてください。

レポーターは、
すずきです！





本名：アキコ
1978 年生まれ

東山動物園って飼育動物の種数が日本で一番多い動物園だと知っていましたか？このコーナーは、そんな東山動物園で飼育されている動物の中でスタッフお気に入りの個体を皆さんに知ってもらおう！というコーナーです。

アキコは2010年8月に、高知県にあるわんぱくこうちアニマルランドから東山動物園にやってきました。皆に気を使い、やんちゃなりキと一緒に遊んであげるととても優しいチンパンジーです。そんなアキコは、2012年末に左腕の筋肉に壊死が見つかり、壊死の拡大を防ぐため肘から下を切断する手術をおこないました。そのため「片腕」のチンパンジーという大きな「個性」をもつことになりました。治療のため群れから離れていたアキコですが、2013年5月には群れに戻り、以前と同じように仲間と一緒にグルーミングをしたりリキと遊んだりして暮らしています。驚いたことに、他の仲間は今までどおりアキコを

受け入れ、弱いものいじめをするようなことはありません。またアキコ自身も「片腕」という障害を特に気にしている様子はなく、三本足で歩き、走り、タワーの階段を上ったり降りたりしてうまく適応しています。しかし、このときだけは大変だろうなと思うときがあります。ご飯の時間です。

他のメンバーよりも腕一本分の食べ物を確保できないため、アキコは右手と両足にいっぱい食べ物を掴み、さらに口にもたくさん入れて、落ち着く場所まで二足歩行して持っていきます。その途中に口や手から食べ物がポロポロ落ちてしまいそれをリキが取って食べてしまうなど、アキコなりの苦労も垣間見ることが出来ます。独特な個性をもつ彼女の行動はいつも見ていて飽きません。
(レポーター：櫻庭)



群れの中で暮らす片腕のチンパンジー、アキコ(左)リキ(左から2番目)はアキコのことが大好きです

東山動物園くらぶ information

☆ご報告☆

第9回公開セミナーを開催しました！

テーマ：アフリカゾウの優雅な1日
講師：東山動物園飼育員 鈴木哲哉さん
日程：2013年6月28日(金) 18:30~20:00
開催場所：市民活動推進センター集会室

第11回公開セミナーを開催しました！

テーマ：プロジェクトZ00-活動報告と先輩からのメッセージ
講師：当団体スタッフ OG 長谷川紗世さん
当団体スタッフ OG 鈴木育代さん
日程：2014年3月14日(金) 18:30~20:00
開催場所：ハートフルスクエアG集会室

賛助会員募集中！

東山動物園くらぶは動物園の「環境教育」のお手伝いをするとともに、子どもから大人まで楽しめるイベントを今後もおこなっていきます！

そこで、私たちの活動に賛同し協力して下さる賛助会員を現在募集しています。

申し込み方法

氏名、ご住所を下記アドレスまでご連絡ください。

入会申込書を送付いたします。

E-mail: higashiyama.zooclub@gmail.com

☆今後のイベント☆

東山動物園検定

日程：2014年5月11日(日) 13:00~16:00
開催場所：東山動物園 動物会館

第12回公開セミナー

テーマ：未定
日程：2014年6月下旬
開催場所：市民活動推進センター集会室(名古屋)

東山こどもガイド2014

日程：2014年9月23日, 28日, 10月5日
開催場所：東山動物園

東山動物園寄席

テーマ：動物園と動物落語(仮)
日程：2014年11月下旬~12月上旬予定

中日新聞社出版・東山動物園くらぶ編
東山動物園公認ガイドブック

ず〜っといっしょ
好評発売中！

通販サイト・書店でお買い求めいただけます



発行・編集：NPO 法人東山動物園くらぶ
問い合わせ：higashiyama.zooclub@gmail.com